

## (4) 中谷地区まちづくり計画

### ○ 地区の概要・特性

中谷地区は、石川町の北東部に位置し本宮区、双里区、形見区、谷沢区、坂路区、谷地区、中田区の7行政区からなり、東は古殿町、北は、平田村に隣接しています。

地区内の本宮地区から谷地地区に至るまで重要幹線道路である主要地方道いわき・石川線が東西に走り、いわき市と中通りを結ぶ交通の要所となっています。

地区面積は、約26.5km<sup>2</sup>、うち農地が4.7km<sup>2</sup>、山林が18.0km<sup>2</sup>、その他3.8km<sup>2</sup>となっています。農地の占める割合は17.7%ですが、年々遊休農地が多くなってきています。山林は、67.9%を占め、谷間は勾配が急峻な地形をなしており、中田地区は、やや穏やかな勾配となって里山の趣を残しています。

歴史的には、塩の道として古くから人々の往来があり、坂路地区は宿場町として栄え、当時は地域の政治、経済の中心的役割を担っていました。また、地区内を流下する今出川、飛鳥川の由来も京都府にある川と同じ河川名であることから古くから人々が生活していたことが伺えます。

### ○ 地区の現状と課題

- ・ 少子化の影響で少しずつ人口の減少を示しており、このことは、農業後継者不足につながり山間部の農地の荒廃も目立つようになってきました。また森林資源についても荒廃が進行しており動植物に対する影響が現れてきております。
- ・ さらに、地域の伝統・文化・行事等に対しても影響を及ぼし継続していくことが困難になっている現状があります。
- ・ 恵まれた自然環境の中で、自然、歴史、文化等の地域資源を有効に活用して、世代間を超えたコミュニティー活動を積極的に展開し、様々な事業活動をとおして地域を再発見するとともに、地域活性化に向けた取り組みが求められています。

このため、

- ・ 地域のひとが誰でも参加できる地域づくり
- ・ 伝統行事を承継するリーダーの養成
- ・ 自然環境を次世代に引き継ぐ体制づくり
- ・ 荒廃農地の有効活用
- ・ 神社・仏閣及び伝統芸能の伝承・保存
- ・ 学校の統廃合に伴う施設の有効活用
- ・ 7地域事業の連携と促進

等を通して地域をあげた活動を展開することによって活性化を図ることが必要です。

## ○地区の将来像

自然と共生する美しい里

## ○ 事業計画

### 〔計画1〕 清流の保全

#### 〔目的〕

- ・人々の生活を育んできた今出川・飛鳥川が地域に果たしてきた役割について学び、自然環境がもたらす動植物の生態系などを知りながら地域の潤いを後世により良い姿で引き継ぐ取り組みを図ります。

#### 〔取組内容〕

- ・河川環境の保全 ・ホタルの里づくり ・ハッチョウトンボの里づくり ・分水嶺の保存

### 〔計画2〕 住みよい環境づくり

#### 〔目的〕

- ・花木をとおした地域づくりを進めるため、住民総参加の意識の高揚を図る。また、遊休農地の活用を図るため、そばや雑穀等の栽培生産を呼びかけ「食」による地域づくりをめざします。

#### 〔取組内容〕

- ・桜の里づくり ・花のある里づくり ・そばの里づくり

### 〔計画3〕 みどり豊かな里山づくり

#### 〔目的〕

- ・地域の面積の大半をしめる森林に、多くの人々が親しみを持てるような環境整備を図り森林との共存を考え、併せて間伐材の利用の推進に務めます。

#### 〔取組内容〕

- ・背戸山づくり ・二本ブナ保全 ・間伐材の有効活用

### 〔計画4〕 伝統・芸能の伝承

#### 〔目的〕

- ・長年の生活の中から生まれた伝統、芸能や生活文化の伝承を再認識し、先人が残した歴史を学びながら、伝統、芸能、文化の伝承を通し地域づくりに務めます。

#### 〔取組内容〕

- ・秋季祭礼の伝承 ・伝統・芸能の伝承 ・リーダー及び後継者の養成